



区のマーク

緑区



実施までの準備

昨年はコロナ感染症拡大防止の観点から、研修を中止することになった為、今年度はコロナの感染状況に左右されずに実施できるようオンライン研修を企画しました。

実施概要

研修タイトル

在宅療養者の日常生活を支える～専門職の役割と多職種連携～

実施方法 Web等を活用したオンライン形式(使用ツール:Zoom)

日時 令和3年11月24日(水)14時～15時30分

場所 オンライン(4AB会議室)

- 内容
- ①開会あいさつ…緑区高齢・障害支援課長 岩崎 均
 - ②事例紹介「心身の状態が不安定な在宅療養者の日常生活を支える～専門職の役割と多職種連携～」…有限会社たくみケアサービス つるかめ訪問看護ステーション三保 荒井 彩子氏
 - ③各職種からの発表
 - (i職種の強みや役割、ii事例に対して職種としてできること、iii多職種の連携が円滑にいくよう心がけていること)
 - ④質疑応答・意見交換
 - ⑤まとめ…あいケアマネジメントサービス 伊庭 裕美氏
 - ⑥連絡事項

参加者 48名

内訳

- ①訪問看護師(6名) ②歯科医師(2名) ③ケアマネジャー(15名) ④介護福祉士(1名)
- ⑤地域包括支援センター(11名) ⑥行政職員(5名)
- ⑦上記以外(8名／職種:福祉用具専門員5名、訪問診療の看護師1名、在宅医療連携室1名、訪問介護職員1名)

参加者の意見

- 多職種同士で顔の見える関係性を築いていきたいです。コロナ禍で一同に集まる機会が減っており、担当者会議も書面で行うことが増えていましたが、顔を合わせなくとも電話で話したり「直接」やり取りをすることが大事だと改めて感じました。
- Zoom研修で多職種の方の顔を見て、声を聞くことができることで、お互いを知ることができ、今後の連携に活かしていくのではと感じました。
- 他職種に連絡する際は役割を意識しながらその人の立場に立って相談・報告していきたいと思います。

研修の成果

研修実施の効果

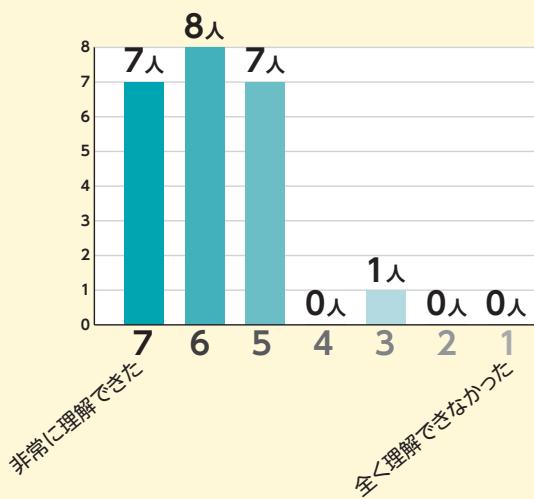
- 各専門職の発表を通じて、それぞれの職種の役割・強みを再確認することができました。
- コロナ禍の実施でしたが、オンライン形式にすることで参加者が安心して参加することができました。
- 参加者との意見交換の時間を設けることで、直接意見や感想を聞くことができました。

課題

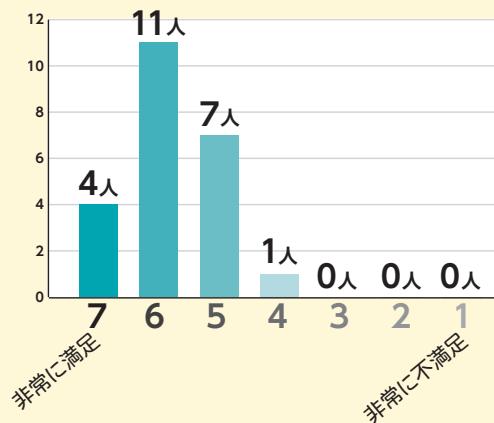
コロナ禍であったため、オンライン研修を実施しました。参加の職種の半数近くがケアマネジャーであることから、参加者は例年より少なくなりました。

アンケート結果の一部 n=23

研修の理解度



研修の満足度



職種別の回答者数

ケアマネジャー連絡会	14人
訪問看護ステーション連絡会	5人
訪問介護事業所連絡会	1人
地域包括支援センター	3人
	計23人

(3) 緑区訪問介護連絡会 ○多職種の連携が円滑にいくよう心がけていること

- ・ご利用者様の思いと、援助方針を支援者間で共有している。
- ・訪問介護員はご本人やキーパーソンから相談を受ける機会も多いが、各職専門性のある分野についてはケアマネジャーへ困り事を伝え、専門職より対応を頂ける様、情報を速やかに共有している。
- ・その方の疾病に対する理解を深め、再発防止、状態改善につながる様、他職種の領域に関する知識を習得する努力を行うことで、共通言語が持てる様努めている。



今後の方針と次年度に向けて

今後も引き続き、在宅ケアみどりネットワークでの会議で研修内容の検討、企画を行い、医療と介護の専門職の資質向上、連携促進になるような研修を企画したいです。今回初めてオンラインでの研修を実施しましたが、参加者が例年の半数も満たなかったため、その要因を分析し、医療・介護の専門職が一人でも多く参加したいと思えるような研修を考えていきます。次年度はACP研修を実施する予定です。